

一般質問通告書(令和4年9月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	芝田 英範	1. 森林整備と森林環境譲与税の活用について	(1) 市が森林所有者から経営管理の委託を受け伐採等が可能となる新たな「森林経営管理制度」が創設されました。そして、これを踏まえ、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保し、我が国の森林を支える仕組みとして「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行され3年経過しました。そこで、以下について伺います。 ① 森林環境譲与税での事業実績と今後の譲与税配分額見込みについて ② 森林環境譲与税を活用した森林整備と木材利用の取り組みについて ③ 人材育成や担い手確保、林業従事者への支援について ④ 次世代を担う子ども達への森林教育としての林業体験や市民への普及啓発の実施状況について	1	農林振興課参事(農林基盤整備室長)
		2. 野津東部工場用地の企業誘致について	(1) 現時点で企業からの問い合わせ状況と今後の企業誘致推進について	1	産業観光課長
		3. 水道未普及地区の支援について	(1) 水道未普及地区の飲料水供給施設等に係る施設の実情と支援体制について	1	水道事業所長
2	広田 精治	1. 子ども医療費の助成制度について	(1) 子ども医療費の助成制度について伺う。 (2) 「制度の対象を高校生まで拡充を」と願う市民の声に関して、以下を伺う。 ① 過去に行った検討の結果、実施に必要な予算。 ② 子ども医療費助成制度の財源には、ふるさと納税寄附金が活用されている。制度の対象を高校生まで拡充するために増額の考えはないか。	1	子ども子育て課長
		2. 旧統一教会問題に関して	(1) 本市に寄せられた開運商法(靈感商法等)の被害者からの相談について、以下伺う。 ① これまでの相談件数 ② 相談内容、特徴 ③ 寄せられた相談への本市の対応	1	市民課長
			(2) 旧統一教会とその関連団体と政界との関係が次つぎと明らかになり、地方自治体の関与にまで及んでいる。政治家や地方自治体の関与が同会へのお墨付きを与え、被害を拡大してきたと言われている。 同会は「世界日報」などマスメディアをはじめ、政治・文化・教育に関わる団体を多く展開、靈感商法の印鑑、つぼ、高麗人参などの輸入と製造・販売。医療、ホテル、旅行代理店など数多くの企業を支配下に置いている。 そこで、以下のように旧統一教会関連団体との関与について、各当局での調査をおこない公表することを求めるがどうか。 ① 旧統一教会関連団体の集会、イベントへの職員の参加、祝電、行事の後援などはなかったか。 ② 旧統一教会関連団体からの寄付受領の有無。	2	総務課参事監
3	内藤 康弘	1. 白杵市農業の現況について	(1) 昨今の燃油高騰、飼料や肥料、農業等の価格上昇対策について。世界的な人口の増加、ロシアによるウクライナ侵攻、コロナ、円安等のあらゆる世界の情勢の変化を受けて燃料等の農業用資材や飼料、肥料農業等の価格が急上昇しています。急激な価格の上昇は、農業経営に大きく影響を与えています。 農業経営のコストが上昇すれば当然、農業所得は、減少します。農家数の減少や、新規就農の減少にもつながります。 当然のことですが、農家側もコスト削減に努める必要があります。しかし限界があるため、国や県および自治体の支援が必要であると考えます。 今後の物価高騰が白杵市農業にボディーブローのように効いてくるかもしれません。 白杵市として今後の見通し、および具体的な対応を伺います。	1	市長
		2. ふるさと納税について	(1) ふるさと納税について。 ふるさと納税は、2008年から開始された、地方創生を目的とした寄附金税制の1つです。白杵市も順調に寄附金額および寄附件数を伸ばしてきましたが、令和元年を境に減少しています。原因は何かを伺います。 ① 現在の実績はどれくらいですか。 ② 寄附金額の減少で事業に支障をきたすことはありませんか。 ③ 今後の対応と対策を伺います。	1	秘書・総合政策課長

一般質問通告書(令和4年9月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	河野 巧	1. 白杵市在住の小・中学生に対する通学支援及び通学環境について	白杵市では「白杵市立学校遠距離通学児童生徒通学支援に関する規則」が平成21年4月に施行されている。予想以上に少子化が進み集団登校ができないことや通学路の安全性が保てない等、小・中学生の通学環境に著しい変化が生じ、改善が必要だと考える。そこで、6月定例会に引き続き、白杵市の現状と今後の対策について、再度、問う。 (1) 安全な通学環境について ① 安全な通学環境を確保する為に白杵市教育委員会が行っている事 ② 安全な通学環境を確保する為に学校現場が行っている事 ③ 安全な通学環境を確保する為に地域が行っている事、また地域へ依頼していること、依頼する際の責任の所在は ④ 安全な通学環境を確保する為に白杵市(道路整備・街灯・防犯など)及び関係団体(警察・土木事務所等)が行っている事 ⑤ 「安全な通学環境」と判断する定義は ⑥ 「安全」に問題があると判断されている箇所数とその対応 (2) 通学路の危険箇所の対応について ① 通学路に危険箇所がある児童・生徒は、どのようにして登下校しているか。保護者の負担の有無及び内容は ② 新入児及び保護者に対する危険箇所の周知及びその対応についての説明並びに相談体制は ③ 危険箇所に対する保護者や地域と教育委員会との連絡相談体制は (3) 通学支援について ① スクールバスの運行要件を検討していく、援助についての見直しを手がけているとの事だったが、その後の対応と変更点について ② 高山線が出来た、例外的な理由について ③ 教育長が特に認める場合の基準は ④ 定例教育委員会における議案として、直近5年間で協議された件数及び教育委員から出された意見は (4) 遠距離生徒通学費補助金について ① 遠距離通学に対する補助金交付要綱では1/3を白杵市が負担し、残り2/3を保護者が負担する内容となっているが、登下校時に児童・生徒が利用できる時間帯の公共交通がない場合、市としての対策はどう考えているか ② 義務教育期間中の公共機関に支出する保護者負担の交通費に対する経済対策支援への考え方は ③ 義務教育期間中の補助金交付要綱を全額補助にした場合の支出予想金額は (5) 規則の周知徹底について ① 新入児の入学状況把握はいつ行っているか ② 規則に照らし合わせて、該当する、該当しない、の判断は誰が、いつ、どのような決裁ルートで行っているか ③ 決定した内容は、いつ、だれが、どのように保護者へ説明しているのか (6) 規則の見直しについて ① 通学支援に関する規則を施行してから約13年経過した。その間、市内の児童・生徒数はどう変化したか ② 変化に伴う規則の見直しが必要だと考えるが見解は ③ 教育長が特に認める項目に対する教育委員への相談や委員の意見の反映への考え方は。	1	教育次長

一般質問通告書(令和4年9月定例会市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
		2. 旧野津高校跡地の利活用について	旧野津高校跡地の利活用とその進捗状況について、依然として地域住民からの関心が高いことから、これまでの経過とこれからの予定について問う (1) 当初の計画(プロポーザル)から現在までの流れについて ① 白杵市が利活用事業者と認めた会社の設立年月日と、市が利活用事業者と認めた(契約した)年月日はいつか ② 白杵市が利活用事業者と認めた会社は、どういった会社でどのような関係団体があるか ③ 野津地域の活性化に貢献すると判断した利活用事業者のこれまでの活動の評価すべき点はどのようなものであったか ④ 白杵市に対して、これまで利活用事業者より何度計画変更の申し出があったか、また、それはどのような内容だったか ⑤ それに対する白杵市の対応はどう行われてきたか ⑥ 変更による説明を白杵市は、議会および市民へどのように行ってきたか ⑦ 同施設は「道の駅」を使っているが、国土交通省が定めている内容の施設なのか ⑧ これまで、白杵市が旧野津高校跡地利用に関して支払った整備金額は約4億400万円と市報に掲載されていたが、当初計画していた金額と変わりなかったか (2) 審査委員会の委員選考基準と役割について ① 審査委員の選考基準と委員を決めたのは誰か ② 審査委員会の委員の任期は ③ 審査過程で委員よりどのような意見があり、それに対する利活用事業者の対応はどのようなものであったか ④ これまでの計画変更点に関する審査委員会の所見は ⑤ 審査委員会に参加したオブザーバーは誰か (3) プレオープン後の状況について ① 選考にあたっては、野津地域を含めた白杵市の農業振興が重要な要件だったと考えるが、利活用事業者は現在どのような計画のもと、農業振興を行っているかと白杵市は考えるか。今後の期待できる点はどのようなものと考えているか ② 正式オープンはいつか。市民への周知方法は。 ③ 利活用事業者と白杵市の情報共有および共通認識ができているか (4) これからの旧野津高校跡地について ① 当初、全部の部屋および敷地内施設を利活用する予定だと認識していたが、空き部屋および利活用出来ていない敷地内施設についての今後のスケジュールについて、利活用事業者はどのように考えているか。また、白杵市はどのような対策を考えているか ② 利活用事業者の考えに対する白杵市の対応は、今後どのようにしていくか	1	財務経営課長
5	大塚 州章	1. 新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策について	(1) 感染症対策について ① ウイルスの性質の内容及び感染症対策について、初期から現在への経過について。 ② ワクチン接種に対しての意義について、初期から現在への経過はどう変化していったか。 ③ 現在、小児及び児童への感染傾向が多く見られるが、国内においては小児の感染後の後遺症例又は身体的要素や精神的要素、更には社会的要素への影響が懸念されます。 白杵市内における感染状況と、それによる影響及び今後予測される傾向と、これからの対策について考えを伺いたい。 (2) 経済対策について ① コロナ禍初期より国の財政出動により、各業種や市民を対象に経済対策を行なって来られましたが、それによる効果と課題、今後もしパンデミックが続く場合の対策について、白杵市の経済対策の重要な点を伺いたい。 ② 経済的困窮による子ども達への影響は大丈夫なのか伺いたい。	2	政策監(福祉保健担当)
				1	市長

一般質問通告書(令和4年9月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	伊藤 淳	1. バイオマス産業化推進事業について	(1) 白杵市の資源を活かした循環型社会の構築を目指すとした「バイオマス産業化推進事業」については、原木の仕分け・集積をおこなう「カスケードセンター」、未利用材を利用した「木質バイオマス発電施設」、焼酎かす等を利用した「メタンガス発電施設」を主な取り組みとし、持続可能な循環型地域づくりを進めるため、実現に向けて検討していくと示されています。 そこでお尋ねします。 ① 本事業の進捗状況を教えてください。 ② 現時点での課題と今後に向けての検討結果を教えてください。	1	政策監(総務・企画担当)
		2. 白杵市地域公共交通計画について	(1) 令和4年3月に白杵市地域公共交通計画が策定され、「本市における地域特性や地域公共交通の現状・課題等を踏まえ、市が目指す将来都市像を実現する上で地域公共交通の果たすべき役割を明らかにするとともに、市民の生活と移動を支援し、かつ、持続可能な地域公共交通を実現するため」とその目的が示されています。そこでお尋ねします。 ① 本計画を管理する主体は、「白杵市地域公共交通活性化協議会」と示されていますが、開催状況とその場で共有された課題や市民の意見を教えてください。 ② 本計画の基本方針2の②の中で、公共交通だけではカバーしきれない移動要望に対して、生活に困らない移動手段の検討を進めていくと示されていますが、その「移動要望」と「検討内容」を教えてください。	1	副市長
7	戸匹 映二	1. ゴミ出しが困難な世帯への対応について	(1) ゴミ出しが困難な世帯について ① 要介護の高齢者や障がいを持つ人の中にはゴミ出しが困難な世帯が一定程度存在すると思われるが市の認識を伺う。 (2) ゴミ出しへの市の支援について ① 一定の条件の下で、玄関先でゴミを収集する「ゴミ出し支援サービス」を行っていただきたいが如何か。	1	環境課長
		2. 認知症高齢者等の損害賠償責任への対策について	(1) 認知症による事故等で家族等に多額の損害賠償責任が発生した事例がある。対策が必要と考えるが市の認識を伺う。 (2) 損害賠償責任が発生した場合に備えて、市で認知症高齢者等の個人賠償責任保険事業を行っていただきたいが如何か。	1	高齢者支援課長
		3. 白杵市の平和事業の取り組みについて	(1) これまでの平和事業の取り組みについて ① 「平和首長会議」等の自治体間や国際的ネットワークでの取り組みや活動状況を伺う。 ② 白杵市内における平和事業の取り組み状況を伺う。 (2) 今後の平和事業推進について ① 市民への平和事業推進の取り組みについての考えを伺う。 ② 平和事業の一環として毎年8月に市民へ向けて戦争や被爆展示の開催や被爆体験講話などを聞ける機会を提供していただきたいが如何か。 ③ 平和事業に歴史資料館を活用しては如何か。	1	秘書・総合政策課長
8	平川 幸司	1. 中学校の部活動について	(1) 白杵市における中学校部活動の地域移行に向けた取り組みの現状と課題について (2) 今後の方向性について	1	教育長
		2. 消防救急業務について	(1) コロナ禍での救急業務について ① 救急搬送の現状について ② 新型コロナウイルス感染症に係る搬送について ③ 救急搬送困難事案について ④ 救急隊員の感染防止対策について	1	消防長

一般質問通告書(令和4年9月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
9	安東 鉄男	1. コロナ禍における小・中学生の学力、体力及び健康について	長期におよぶコロナ禍により、学校での学習や運動に様々な制約を受ける状況が続いている。そのような中でも、各学校や家庭、児童・生徒本人とも努力をして取り組んでこられたと思うが、児童・生徒がどれだけの力をつけたかについて検証をしっかりと行う必要があると考える。また、7月末には「大分県学力状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」の結果も公表されているが、その結果も踏まえ、 (1) 白杵市の児童・生徒の学力の現状と具体的な取り組みについて伺う。 (2) 白杵市の児童・生徒の体力・健康の現状と具体的な取り組みについて伺う。	1	学校教育課長
		2. ヤングケアラーについて	県は今年2月に大分県ヤングケアラー実態調査結果(令和3年10月～11月調査)を発表した。小5から高3までの79,550人、回答者57,259人(回答率72.0%)、家族の世話をしているヤングケアラー2,315人、そのうち困りごとを抱えている児童・生徒が約1,000人(回答者全体の1.3%)いると公表した。 (1) ヤングケアラーの実態調査について ① 白杵市のヤングケアラーの実態把握の状況について伺う。 (2) 白杵市の取組みについて ① 現状での市の取組みについて伺う。	1	子ども子育て課長
10	奥田 富美子	1. 白杵市民球場スコアボードの改修について	白杵市民球場は地元の野球チームをはじめ高校野球の大会予選、大学生の大会、プロ野球チームまで幅広く使用されています。他球場ではオーロラビジョンまで設置されているところもありますが、白杵市はかろうじて得点と打順が示されるだけの設備しかありません。 (1) 白杵市の財産を有効活用するためにも改修が求められます。今後、電光掲示板を含めた球場施設の改修について予定は有りますか。	1	社会教育課長
		2. 学校でのトイレ掃除について	白杵市では学校施設において、自動水栓に取り換えるなど感染症対策の取り組みがなされています。コロナ禍でトイレが感染場所の一つとして考えられることから、清潔に保つことが求められています。 (1) 自動水栓への取り換えの進捗状況はどうなっていますか (2) コロナ感染が収まらない中で、学校のトイレ掃除の実態はどうなっていますか (3) トイレの清掃は業者に依頼することが望まれるところですが、どのようにお考えですか	1	学校教育課長
		3. 白杵市男女共同参画基本計画について	白杵市男女共同参画基本計画に対して「女性に我慢強さや内助の功を求めるものになってはいないか」などの意見が、大学生からA4用紙4枚にわたって寄せられました。「指摘したこの大学生の姿勢は多くの人に希望を与えるかもしれない」という内容で、7月初旬大手新聞社の夕刊に取りあげられました。 (1) 寄せられたご意見に関して、白杵市はどのように対応してこられましたか。 (2) 今後、見直しの際、若い世代に希望の持てる表現への変更が求められていると考えますが、その対応についてどのようにお考えですか。	1	政策監(民生担当)

一般質問通告書(令和4年9月定例市議会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
11	匹田 久美子	1. 道路、公園、遊休施設といった市有地の管理について	(1) 市道などの管理について ① 市道脇や市の管理している空き地の草刈りはどのように行っているか ② 樹木が覆いかぶさっている道路の安全確保はどのように行っているか	1	建設課長
			(2) 諏訪山公園の管理について ① 公園内の遊具やベンチなどの備品の管理はどのように行っているか ② 樹木や花壇雑草などの管理や清掃はどのように行っているか		
			(3) 遊休施設の管理について ① 白杵市公共施設等総合管理計画への理解はどのように進めているか ② 施設の保全補修、草刈りなどはどのように行っているか	2	財務経営課長
		2. 「白杵市パートナーシップ宣誓制度」の啓発に伴いジェンダーの理解を深めることについて	(1) 制度の目的や概要について、市民団体や企業への啓発はどのように行っているか	1	政策監(民生担当)
			(2) 小・中学校において児童・生徒への理解をどのように深めようとしているか (3) 選択制制服はジェンダー平等にも寄与すると考えるが現状の進み具合はどうか	2	学校教育課長
		3. 地域おこし協力隊の現状と今後の方向性について	(1) 活動の目的と現状、退任後の定着率はどのようにになっているか (2) 市民への活動報告はどう行っているか (3) 協力隊のさらなる活用と、任期終了後の定住のために、今後予定している取り組みはあるか	1	地域力創生課長
12	川辺 隆	1. ユネスコ食文化創造都市ネットワークについて	(1) ユネスコ食文化創造都市ネットワーク加盟認定後の取り組み状況を、お伺いします。 (2) 今後の取り組み計画、課題等をお伺いします。	1 2	副市長 政策監(商工・観光・農林水産業担当)
		2. 白杵市における文化財の保存活用の取り組みと今後の展望について	(1) 文化財保護法改正による「文化財の保存活用」が求めることとは何ですか。 (2) 白杵市では現在、どのような方法・体制で文化財の保存活用に取り組んでいるか。また、その事例はありますか。 (3) 白杵市は「文化財の保存活用」を通じてどのような将来像を描いていますか。	1	文化・文化財課長
		3. 白杵市スクールバス事業について	(1) 現在、スクールバス事業対象の学校と児童・生徒数はどのくらいいますか。 (2) スクールバス事業の運営費用をお伺いします。 (3) スクールバス事業に対して、今後の課題等をお伺いします。	1	教育次長